

## 2 小平市まち・ひと・しごと創生総合戦略の達成状況（数値目標・KPI一覧）

第2回 小平市まち・ひと・しごと創生総合戦略  
推進委員会 資料3 令和3年3月29日(月)

### 【留意事項】

- ・複合的な取組の結果として表れる指標については、所管課を空欄としている場合があります。
- (※1) 市総合戦略において「現状」として記載している数値であり、項目によっては必ずしも平成26年度末の数値ではありません。
- (※2) 平成26・28年度末は世論調査(平成25・28年度実施)、平成30年度末は小平市長期総合計画策定のための市民アンケート調査(平成30年度実施)の結果の数値です。
- (※3) 平成26年度末(現状値)は概数であり、令和2年度末(目標値)は小平市観光まちづくり協会における取組の成果を想定しています。
- (※4) 令和2年度に実施予定であった世論調査を令和3年度に延期したため、現時点で実績が把握できていません。
- (※5) 現時点で調査結果等が公表されていません。

**未定稿** ※令和2年度末実績は、  
令和3年3月初時点の見込値です。

### 基本目標1「住み続けたいまちの空間をつくる」

#### ① 農のあるまちづくりの推進

・農業者の経営基盤強化のための支援、学校給食への小平産農産物の利用促進等による地産地消の拡大、援農ボランティア等市民活動への支援や市民が農にふれ合える場である体験農園の拡充、「こだいら直売所マップ」等による情報発信に取り組み、農のある快適なまちづくりを推進しました。

#### ② ゆったりとした快適なまちづくりの推進

・用水路の親水整備や保全工事の実施、小平グリーンロードを活用した灯りまつり等のイベントやブルーベリー等の食を通じたイベントの支援、こだいらオープンガーデンの支援と情報発信などに取り組み、みどり豊かな自然環境を生かしたまちづくりを推進しました。

#### ③ “住んでみたい”まちづくりと魅力の情報発信

・駅周辺のにぎわいの創出と若い世代に対する魅力向上を図るため、小川駅西口地区・小平駅北口地区市街地再開発事業への支援を行いました。また、小平市民文化会館、平櫛田中彫刻美術館、小平ふるさと村における様々な文化や地域振興等に関する事業の実施や鈴木遺跡の国指定史跡化の実現のほか、健康で住み続けられるまちを目指し、まち歩きなどの健康づくりやスポーツ振興の取組の実施により、“住んでみたい”まちづくりを推進しました。  
・平成28年6月には「こだいら観光まちづくり協会」が設立されたほか、観光まちづくりサポーターの制度の創設やプチ田舎会議の開催など、多様な主体と連携した市の魅力の向上と情報発信に取り組みました。

指 標	平成26年度末 (※1)	平成27年度末 実績	平成28年度末 実績	平成29年度末 実績	平成30年度末 実績	令和元年度末 実績	令和2年度末 実績(見込)	令和2年度末 目標	所管課
「定住意向のある人」の割合(※2)	80.9%	-	84.2%	-	76.7%	-	(※4)	83.0%	(世論調査・市民アンケート)
人口の社会増減(転入数-転出数)	+460人	+1,170人	+1,360人	+1,269人	+2,539人	+1,430人	+893人	+1,300人	
「緑の豊かさ」の満足度	82.5%	-	83.9%	-	-	-	(※4)	85.0%	(世論調査)

#### ① 農のあるまちづくりの推進

新規就農者数	4人	5人	8人	8人	2人	3人	1人	3人	産業振興課
「小平産の農産物を購入するようにしている」人の割合	40.7%	-	35.4%	-	-	-	(※4)	45.0%	(世論調査)
市内体験農園の区画数	270区画	277区画	319区画	312区画	322区画	325区画	360区画	320区画	産業振興課
援農ボランティア講座修了者数(累計)	208人	210人	216人	220人	231人	249人	264人	255人	産業振興課

#### ② ゆったりとした快適なまちづくりの推進

住み続けたい理由として「自然環境がよい」を挙げる人の割合(※2)	58.1%	-	60.1%	-	59.6%	-	(※4)	61.0%	(世論調査・市民アンケート)
小平グリーンロード等のイベント来場者数	62,600人	59,360人	67,860人	65,400人	78,300人	75,100人	0人	75,000人	産業振興課

#### ③ “住んでみたい”まちづくりと魅力の情報発信

市内の駅の日平均乗降客数	187,066人 (平成25年度)	185,872人 (平成26年度)	189,803人 (平成27年度)	192,416人 (平成28年度)	195,071人 (平成29年度)	196,955人 (平成30年度)	194,777人 (令和元年度)	199,000人 (令和元年度)	
「(仮称)小平観光まちづくり連絡会」会員数	0人	0人	67人	73人	76人	168人	175人	110人	産業振興課
観光ガイドブック等の配布部数(※3)	5,000部	-	7,040部	12,960部	18,000部	35,000部	20,000部	20,000部	産業振興課

基本目標2「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」

①結婚の希望をかなえる

・結婚をしていない若い世代にきっかけづくりの場を提供するため、出会いの創出事業(3事業、合計7回)を実施しました。平成30年度・令和元年度は、こだいら観光まちづくり協会主催で実施し、参加者に対して、地域の魅力の発信を合わせて行いました。

②妊娠・出産期からの支援体制の充実

・従来からのマタニティサポート面談や乳児家庭全戸訪問、ハローベビークラス事業の実施に加えて、平成29年度からゆりかご・こだいら事業を、令和2年度からは子育て世代包括支援センター事業を開始し、妊娠・出産期からの様々なニーズに対応できる相談支援体制の整備に努めました。

③子育て支援サービス・保育環境の充実

・新たな認可保育園や学童クラブの開設や定員の拡充、一時預かり事業等による保育環境の充実と、児童館や子育てふれあい広場の充実など、地域で安心して子育てができるサービス体制の整備に努めました。

④子育てにおける多様な支援の充実

・子育てに関する情報発信を強化するため、従来の「子育てガイド」に加えて、市公認の子育て応援サイト「こだち」を整備しました。  
・提示型公募事業(旧「市民活動支援公募事業」)やいきいき協働事業により、市内のNPOや学生団体等が行う子育てに関する取組を支援するとともに、ファミリー・サポート・センター事業の提供会員の拡充に努めるなど、地域における多様な子育て支援の推進を図りました。

指 標	平成26年度末 (※1)	平成27年度末 実績	平成28年度末 実績	平成29年度末 実績	平成30年度末 実績	令和元年度末 実績	令和2年度末 実績(見込)	令和2年度末 目標	所管課
地域における子育ての環境や支援への満足度	63.5%	-	-	-	74.3%	-	-	65.0%	(子ども・子育て支援に関するニーズ調査)
合計特殊出生率	1.40	1.46	1.42	1.33	1.45	1.32	(※5)	1.46	
<b>① 結婚の希望をかなえる</b>									
出会いの創出による交流数(累計)	0件	0件	84件	84件	128件	162件	162件	150件	政策課
<b>② 妊娠・出産期からの支援体制の充実</b>									
(仮称)子育て世代包括支援センターの設置数	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所	1箇所	1箇所	健康推進課
<b>③ 子育て支援サービス・保育環境の充実</b>									
市内保育施設等における保育定員	6,697人	6,824人	7,017人	7,521人	7,587人	7,721人	7,944人	8,026人	保育課
子育てふれあい広場の利用者数	10,517人	10,491人	11,574人	10,656人	11,133人	8,930人	1,020人	12,300人	子育て支援課
学童クラブの定員数	1,220人	1,220人	1,280人	1,350人	1,410人	1,530人	1,530人	1,530人	子育て支援課
児童館の利用者数	109,367人	117,102人	129,999人	124,777人	130,870人	115,953人	35,874人	140,000人	子育て支援課
<b>④ 子育てにおける多様な支援の充実</b>									
子育て情報発信サイトのアクセス数(累計)	0件	0件	17,420件	101,798件	219,887件	333,708件	466,467件	445,000件	政策課
ファミリー・サポート・センターの提供会員登録数	409人	432人	445人	442人	448人	448人	449人	461人	家庭支援担当

基本目標3「地域力・民活力の高いまちをつくる」

①市内における“しごと”をつくる

- ・創業セミナーや創業塾、創業個別相談窓口などの支援に金融機関と連携して取り組み、市内における“しごとづくり”と地域経済の活性化を推進しました。
- ・平成28年度には、市内に「こだいらコワーキングスペースすだち」を開設し、子育て中の女性の就労や創業を支援しました。
- ・平成29年度には、小平市産業振興基本計画及び小平市農業振興計画を策定しました。
- ・広報誌「ひらく」の発行、男女共同参画に係る講座やフォーラム、事業者懇談会等の開催などにより、ワーク・ライフ・バランスの啓発に努め、誰もが働きやすく、支え合える職場環境の形成促進に努めました。

②大学との連携を推進する

- ・「小平市大学連携協議会～こだいらブルーベリーリーグ～」や包括連携協定(平成30年度に武蔵野美術大学、津田塾大学、白梅学園大学と、令和元年度に嘉悦大学と協定締結)などを通して、市内の大学等との連携を深め、大学生と地域との交流イベント「まちで楽しむ」を実施しました。また、平成30年度・令和元年度には、平櫛田中彫刻美術館・武蔵野美術大学・小平市文化振興財団が連携した、若手作家の彫刻展覧会及び木彫ワークショップを開催しました。

③地域における“担い手”をつくる

- ・市民活動団体・NPO法人等との協働による提示型公募事業・いきいき協働事業の実施のほか、災害時の自助・共助の能力を高めるための自主防災組織の増加や避難所管理運営マニュアル作成の支援、市民が公園等の自主管理に取り組むアダプト制度の導入、介護予防やスポーツ、教育支援等におけるボランティアやコーディネーターの育成などに取り組み、地域における多様な“担い手”の育成や活動場所の確保を図りました。

指 標	平成26年度末 (※1)	平成27年度末 実績	平成28年度末 実績	平成29年度末 実績	平成30年度末 実績	令和元年度末 実績	令和2年度末 実績(見込)	令和2年度末 目標	所管課
(3)③-4～6の事業におけるボランティア数等	244人	399人	442人	494人	552人	665人	518人	708人	—
(内数)③-4 公園等管理におけるアダプト制度	0人	0人	30人	45人	81人	129人	101人	118人	水と緑と公園課
(内数)③-5 介護予防見守りボランティア(累計)	203人	259人	288人	332人	374人	400人	405人	450人	地域包括ケア推進担当
(内数)③-6 スポーツボランティア	41人	140人	124人	117人	97人	136人	12人	140人	スポーツ振興担当
市民活動支援センターの登録団体数	115団体	120団体	115団体	117団体	117団体	132団体	129団体	135団体	市民協働・男女参画推進課
在宅ワークによる新規就労(内定含む)者数(累計)	0人	0人	10人	56人	102人	122人	149人	150人	産業振興課

① 市内における“しごと”をつくる

認定創業支援事業による支援を受けた件数	74件	93件	146件	171件	242件	244件	417件	175件	産業振興課
市内の創業比率	1.78%	—	7.83%	—	5.25%	—	(※5)	2.00%	産業振興課
就労支援のための講習会参加者数	0人	0人	92人	59人	49人	41人	44人	100人	産業振興課

② 大学との連携を推進する

大学と連携した事業の数	30件	35件	43件	58件	61件	62件	(※5)	60件	市民協働・男女参画推進課
-------------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	-----	--------------

③ 地域における“担い手”をつくる

自主防災組織の組織数	57組織	60組織	63組織	66組織	70組織	70組織	72組織	71組織	防災危機管理課
介護予防見守りボランティアの登録者数(累計)	203人	259人	288人	332人	374人	400人	405人	450人	地域包括ケア推進担当